

SHARP

ネットワークカメラ

YK-D02BA

設置ガイド



シャープ株式会社

設置する前にご確認ください





ネットワークカメラの設置を安全に行うために、次の点を必ずお守りのうえ、設置作業を正しく実施してください。

- 設置工事はおお客様ご自身で実施せず、販売店または専門の設置業者にご依頼ください。
- 本製品は、屋内専用の仕様となります。防水性能を持っていないため、カメラに水がかかるような場所に設置しないでください。
- 製品仕様の使用環境（温度(0℃～50℃)、湿度(10%～90%RH)、結露なきこと）の範囲内でご使用ください。
- 曲面、段差、凹凸によって本体が安定して取り付けられないような場所には設置しないでください。
- 強い電磁的なノイズの影響を受ける場所への設置は避けてください。映像が乱れる原因になります。
- 磁気干渉を避けるため、磁石やスピーカーの近くには設置しないでください。
- 設置場所が石こうボードなど、強度が不十分な場所に取り付ける場合は、事前に十分な補強を施してください。
- 本製品の取り付け不備、取り扱い不備における事故・損傷・損害について、弊社は一切その責任を負いません。
- ケーブルの曲がり半径はケーブル径の 5 倍以上としてください。また、ケーブルの長さには十分に余裕を持たせてください。
- オーディオ出力、アラーム入出力を使用する場合は、各ケーブルを確実に接続してください。
- カメラを分解しないでください。故障の原因となります。

1-1. YK-D02BA の設置について

付属品の確認

箱を開けて、以下のものが入っていることを確認してください。

カメラ本体×1	
取扱説明書（基本編）×1	
ネジ×3、アンカープラグ×3、 3ピンワイヤ（オーディオ端子接続用）×1、 4ピンワイヤ（アラーム端子接続用）×1、 六角レンチ×1	
ドリルテンプレート×1	

設置前の動作確認

カメラの設置を行う前に、カメラの設定および動作確認を実施してください。

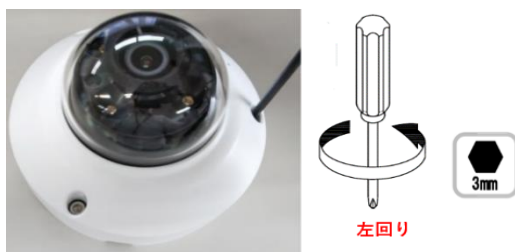
設定の手順は取扱説明書(操作・設定編)をご確認ください。

また、NVR(ネットワーク・ビデオ・レコーダー)と合わせて設置する場合には、事前に接続の設定を実施した上で、映像の撮影などの基本機能に問題が無いことを確認してください。

microSD メモリーカードをセットしてください

※メモリーカードのセットは必須ではありません。セットしない場合は、P.6の「カメラを設置してください」から作業を始めてください。

1. 付属の六角レンチまたは、六角ドライバー(3mm)でフロントカバーのネジを緩め、フロントカバーを外してください。紛失を防ぐため、フロントカバーのネジは、完全に緩めでも抜け落ちないようにしています。



2. メモリーカードスロットに microSD メモリーカードを装着してください。メモリーカードを取り出す際は、再度押し込んでから引き出してください。



【ご注意】

- microSD メモリーカードは「カチッ」と音がするまで、ゆっくりと指で押し込んでください。
- microSD メモリーカードの向き(端子面が外向き)に注意してください。
- microSD メモリーカードは、フォーマットしてからご使用してください。フォーマット方法は、取扱説明書(操作・設定編)を参照してください。
- microSD メモリーカードの端子面に直接触れないように注意してください。万一、直接触れて指紋などが付いた場合は、乾いた柔らかい布で拭き取るようにしてください。
- スロットと本体の隙間に間違えて microSD メモリーカードを差し込まないでください。
- マイク固定ラバーは触らないように注意してください。外れるおそれがあります。外れてしまった場合は、P. 14「マイク固定ラバーの取り付けについて」をご参照ください。

3. 付属の六角レンチ又は、六角ドライバー (3mm) でフロントカバーのネジを締め付けてください。ネジは緩むことのないようにしっかりと締め付けてください。締め付けた後、本体とフロントカバーの間に隙間が空いていないことを確認してください。



【ご注意】

- 1.47N・m (15kgf・cm) 以上のトルクで締め付けてください。
- フロントカバーを取り付ける際に、異物を挟みこまないように注意してください。



カメラを設置してください

本製品は壁や天井への設置に対応しています。

設置場所に十分な強度があることを確認した上で設置を行ってください。

また、本製品は壁や天井に開けた穴を通して配線する方法と、側面開口部からケーブルを引き出して配線する2通りの配線をサポートしています。穴を通して配線する場合は事前に壁もしくは天井に穴を開けてください。

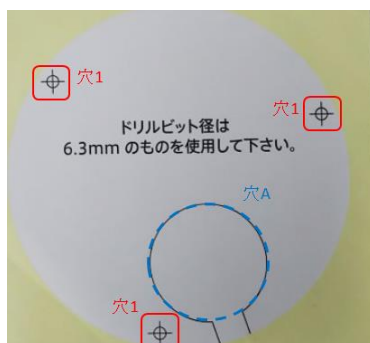
【ご注意】

- 設置場所が、石こうボードなどの強度が不十分な場所に取り付ける場合は、事前に十分な補強を施してください。
- 本製品に付属しているアンカープラグはコンクリート壁専用です。その他の材質へは使用できません。
- コンクリート以外の材質へ固定する際には、壁や天井の材質に合わせた市販のネジやアンカープラグ等を使用してください。詳しい作業手順については、使用する機材の作業手順をご参照ください。
- 本製品の取り付け不備、取り扱い不備における事故・損傷・損害について、弊社は一切その責任を負いません。

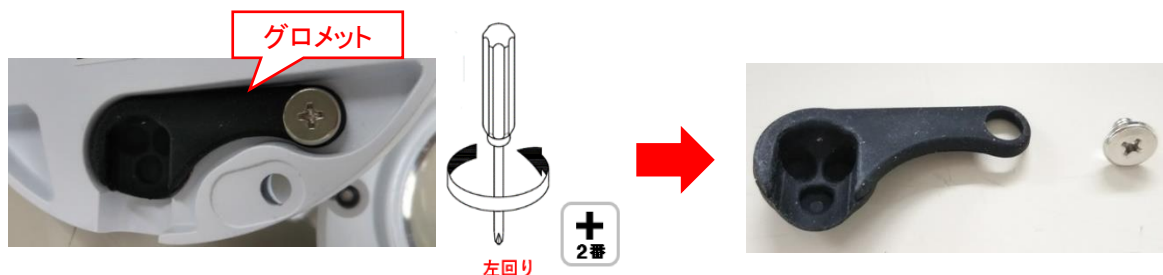
1. 付属のドリルテンプレートの穴1に合わせてドリルで設置場所に下穴を3ヶ所あけてください。

コンクリートに取り付ける場合にはΦ6.3の穴を開けて、付属のアンカープラグを差し込んでからネジを締めてください。

壁や天井を通してケーブルを配線する場合は、ドリルテンプレートの穴Aに合わせてケーブル穴を開けてください。また、側面開口部からケーブルを配線することもできます。その場合には穴Aをあける必要はありません。



2. プラスドライバー(2番)を使用してカメラ本体背面のグロメットを外し、グロメットに取り付ける配線分の穴を開けてください。ビスは外れるため、なくさないように注意してください。



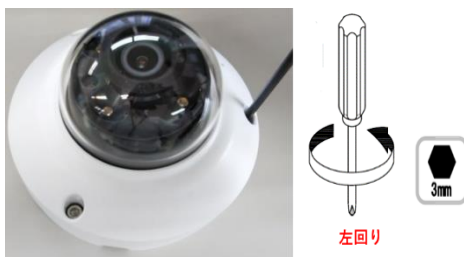
【ご注意】

- グロメットを外す際、レンズカバーを傷つけないように注意してください。

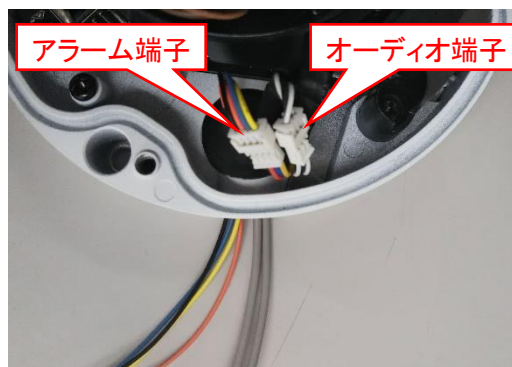
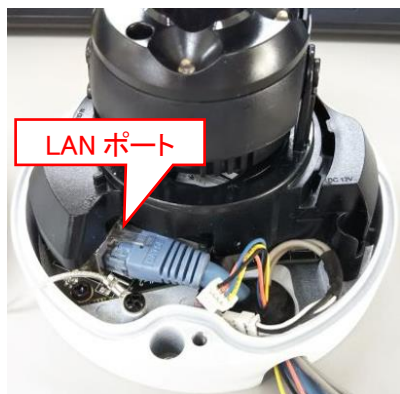
3. グロメットの穴に LAN ケーブルを通し、カシメ圧着工具を使用して RJ-45 コネクタを先端にかしめてください。その際、ストレート結線にしてください。オーディオ、アラーム機能を使用する場合は、オーディオ、アラーム用配線を通してください。3 ピンワイヤがオーディオ端子用、4 ピンワイヤがアラーム端子用となっています。



4. 付属の六角レンチ又は、六角ドライバー(3mm)でフロントカバーのネジを緩め、フロントカバーを外してください。紛失を防ぐため、フロントカバーのネジは、完全に緩めても抜け落ちないようにになっています。フロントカバーとカメラ本体は落下防止ワイヤでつながっています。両方の部品と落下防止ワイヤがネジで固定されていることを確認してください。



5. LAN ケーブルを LAN ポートに接続してください。オーディオ、アラーム機能を使用する場合は、3 ピンワイヤをオーディオ端子に、4 ピンワイヤをアラーム端子に接続してください。



【ご注意】

- マイク固定ラバーは触らないように注意してください。外れるおそれがあります。外れてしまった場合は、P. 14 「マイク固定ラバーの取り付けについて」をご参照ください。



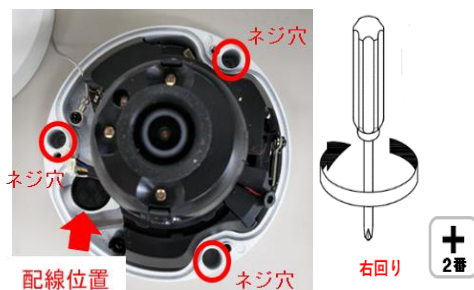
6. 配線が完了したら、グロメットを元の配置に戻してビスで固定してください。グロメットは、キャビネットの穴を必ず閉じるようにしてください。



【ご注意】

- カメラのレンズやカメラ本体をぶついたり傷つけたりしないように注意してください。
- ケーブルを引っかかないように注意してください。
- カメラ本体とフロントカバーは落下防止ワイヤで繋がっているため、フロントカバーをぶついたり傷つけたりしないように注意してください。また、フロントカバーをレンズとぶつけないように注意してください。

7. プラスドライバー(2番)を使用して、カメラ本体を付属のネジ3本で固定してください。壁面設置の場合は、配線位置が下向きになるように固定してください。



【ご注意】

- RJ-45 を取り付け後に、LAN ケーブルチェッカーを使ってケーブルが適切に導通していることを確認してください。
(推奨チェッカー：LAN-TST5(ワンサプライ社製))
- PoE 給電装置と接続して、給電が適切に行われていることを確認してください。
- 切り取ったグロメット等の異物を内部に残さないでください。

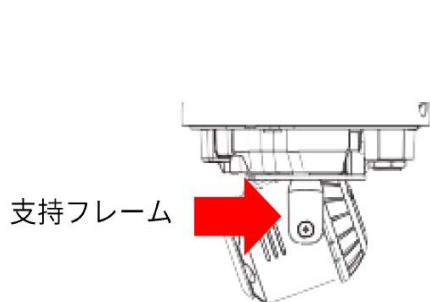
8. パン・チルト・回転の操作をして、目的の位置の映像が映るように調節してください。

【ご注意】

- 調節の際に突起物や指などをケーブルに引っ掛けてしまい、断線することが無いように注意して操作してください。
- 調節時にケーブルがキャビに挟み込んだ状態になった場合は、一旦、調節方向を戻したりして、ケーブルに負荷をかけないように注意してください。

【パンの操作方法】

支持フレームを保持しながら、カメラモジュールを操作もしくは回転させてください。



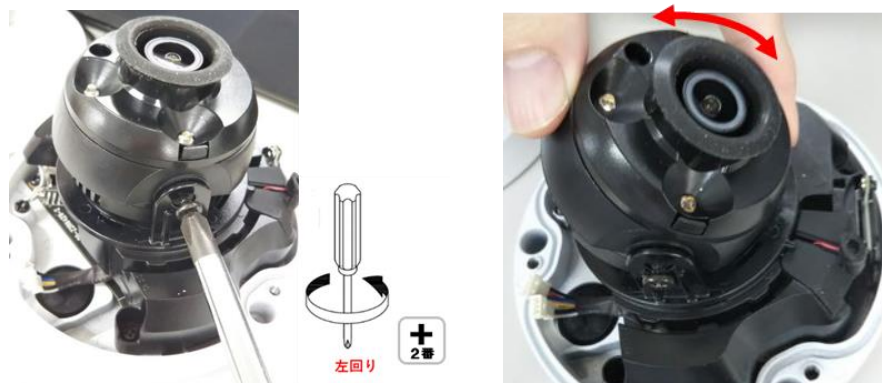
【ご注意】

- ストッパーにより 360° 未満の範囲でしか回転できない構造になっています。無理に操作して破損することが無いように注意してください。



【チルトの操作方法】

調節前に支持フレームのネジを2本、プラスドライバー(2番)で緩めてください。方向の調整は、カメラモジュールの横の部分を持して操作してください。調節後は緩めたネジを締めて固定してください。



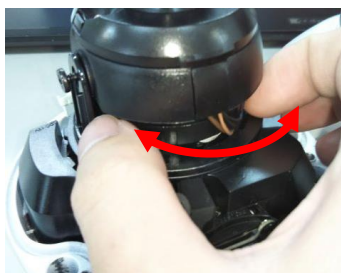
【ご注意】

- ストッパーにより 70° 未満の範囲でしか稼働できない構造になっています。無理に操作して破損しないように注意してください。



【回転の操作方法】

カメラモジュール底面部分を指でつまむようにして操作してください。



【ご注意】

- ストッパーにより 360° 未満の範囲でしか回転できない構造になっています。無理に操作して破損しないように注意してください。



9. 付属の六角レンチ又は、六角ドライバー(3mm)でフロントカバーのネジを締め付けてください。ネジは緩むことのないようにしっかりと締め付けてください。締め付けた後、本体とフロントカバーの間に隙間が空いていないことを確認してください。



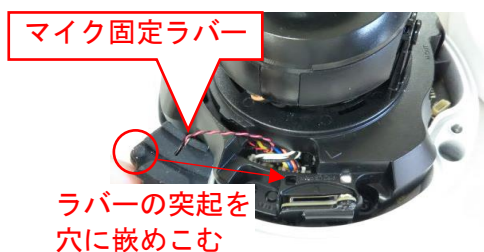
【ご注意】

- 1.47N・m(15kgf・cm)以上のトルクで締め付けてください。
- フロントカバーを取り付ける際に、異物を挟みこまないように注意してください。



【マイク固定ラバーの取り付けについて】

マイク固定ラバーが外れてしまった場合は、ラバーの突起を台座の穴に嵌めこんでください。下図を参照して、正しく取り付けられていることを確認してください。



【ご注意】

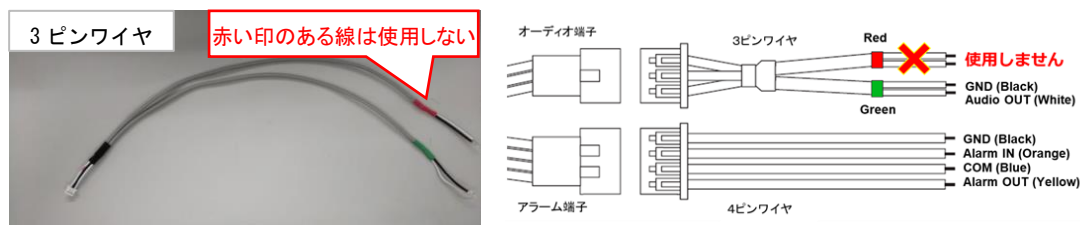
- マイクのケーブル線が細いため、ケーブル線を強く引っばったり、キャビネットのエッジ部分で擦ったりしないように注意してください。
- ケーブル線がキャビネットとラバーに挟まり負荷がかからないように注意してください。



オーディオ端子、アラーム端子の接続

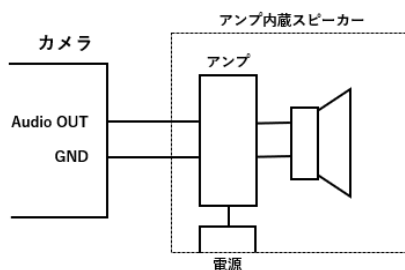
【オーディオ端子の接続】

3ピンワイヤの赤い印のある線は使用しないでください。本製品は音声の外部出力のみ対応であり、音声の外部入力に対応していません。



・ Audio OUT

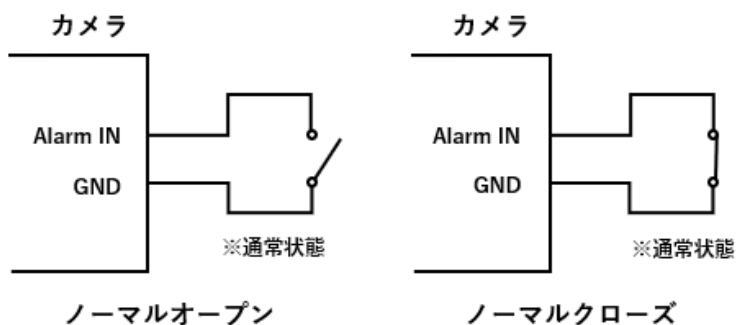
アンプを内蔵した外部スピーカーに接続することができます。スピーカーを動作させる電源（ACアダプター等）は別途必要となります。



【アラーム端子の接続】

・ Alarm IN

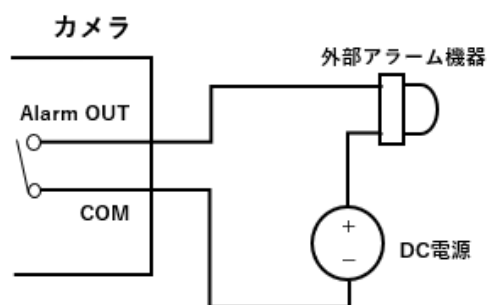
接続する機器に合わせて、通常接点が解放されている状態の NO（ノーマルオープン）か、通常接点がつながっている状態の NC（ノーマルクローズ）かを選択して使用できます。



・ Alarm OUT

ブザーやパトライトなどの外部アラーム機器を接続することができます。外部アラーム機器を動作させる電源は別途必要で、電圧：40V、電流：300mA までの範囲で使用できます。

(カメラ内部の動作はイメージです。)



カメラの初期化方法

1. P.4「microSD メモリーカードをセットしてください」の1に従って、フロントカバーを外してください。
2. カメラと PoE 給電デバイスに、LAN ケーブルを接続して起動してください。
3. リセットボタンを 20 秒以上押してから離すと、初期化処理が開始されます。約 40 秒程度待つと、カメラは工場出荷時状態に初期化され、その後、自動的にカメラが再起動します。
4. P.5「microSD メモリーカードをセットしてください」の3に従ってフロントカバーを取り付けてください。



【ご注意】

- カメラと NVR を接続している場合は、NVR の「ネットワークランプ」が一度消え、再び点灯します。
- カメラの IP アドレスが、初期値 (192.168.0.200) に戻ります。
- ユーザーアカウントは消去されます。新しいユーザーアカウントを設定してください。

カメラのお手入れについて

球体カバーに汚れなどが付着した場合、夜間の赤外線照射が反射して映像が白く曇ることがあります。（寒暖差などで結露が発生した場合も同様の現象が発生することがあります。）



映像品質を維持するために、定期的な清掃が必要です。清掃する場合は、柔らかい布を水や中性洗剤で湿らせ、優しく拭きとってください。

（乾拭きはしないでください。表面に付着した汚れや油などが広がったり、カバー表面を傷つけたりします。）

付録

【設置に必要な工具・機材】

- ・ LAN ケーブル（2本：①カメラ—PoE ハブ間、②PoE ハブ—PC 間）
- ・ ドリル（アンカープラグを使用する場合）
- ・ プラスドライバー（2番）
- ・ RJ-45 コネクタ ×1
- ・ RJ-45 コネクタカシメ圧着工具

【準備を推奨する工具・機材】

- ・ microSD メモリーカード（動作することを確認済みのもの）
※カメラのメモリーカードスロット動作確認用
- ・ PoE パワーインジェクター（問題切り分けのため）
※事前に給電タイプが TypeA か TypeB かを確認してください。
- ・ テスター（ケーブルの断線など確認のため）
- ・ ノートパソコン
※LAN ポートがない場合には、別途 LAN アダプターが必要です。
- ・ PoE 対応 LAN ケーブルチェッカー
※例：LAN-TST5（サンワサプライ社）